The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ
Network Now
JART情報
https://www.jart.jp
2025 No.590 2/1
発行所　公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211　FAX. 050-3153-1519

Headline from JART
2025.1.10 (Fri.)

上田会長、畦元顧問が伊原厚生労働事務次官を訪問する

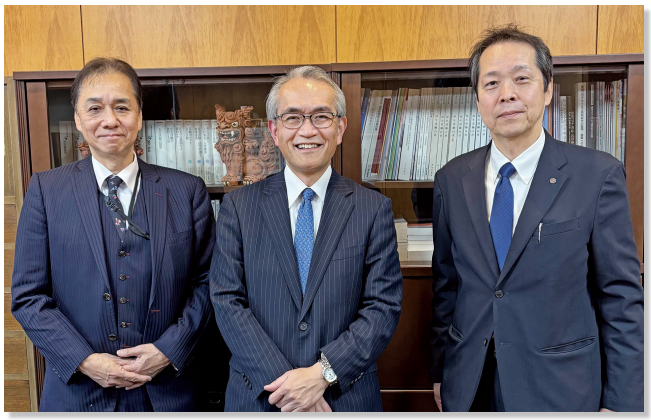
2025年1月10日（金）、上田会長と畦元顧問は、伊原和人事務次官への年始のあいさつに厚生労働省を訪れました。上田会長と伊原事務次官はすでに複数回の面談を行っており、冒頭から非常に和やかな雰囲気で会話が進みました。

今回は、2024年度第5回理事会において本会の顧問に就任が決まった畦元将吾氏も同行しました。畦元顧問は衆議院議員時代に厚生労働大臣政務官としてさまざまな課題に対応してきた仲であり、当時の話題を交えながら今後の診療放射線技師および技師職について意見交換を行いました。

伊原事務次官からは、医療DXや医療技術職の給与に関する具体的な話題が提供され、次の令和8（2026）年度診療報酬改定に向けた動きが始まっているとのお話がありました。医療制度の今後の評価ポイントとして、医療資源をいかに効率的に運用し、医療効果を上げるかがテーマになるのではないかとの見解も示されました。

また診療報酬改定については、①点数の上昇は国民に費用負担をお願いすること ②2年に1度の1%未満の上昇率では物価上昇分にも満たず、医療関係職種全体の賃金上昇をカバーできないこと――などの現行制度への問題提起があり、厚生労働省として医療関係職種の賃金問題に大きな関心を持っていることが示されました。

上田会長からは、「撮影の担当」職種から「画像や情報を管理・運用している」職種へと、撮影からその後の情報管理までの業務範囲をカバーして活躍の場を広げている仲間が多



いことが、昨年末に実施したWebアンケートから示されていると紹介され、診療報酬制度の文言の中に「診療放射線技師」職の名称を増やしていくことを目標とし、「必要とされる」職種から「居なければならない」職種へと今後の業務拡大を進めていきたいと述べられました。

さらに伊原事務次官からは、上田会長がチーム医療推進協議会の代表を務めていることから、各種職能団体間の連携についての質問がありました。各医療関係職能団体の状況については、畦元顧問から現状の報告と今後の目標や議論の進め方の課題について説明があり、将来の目指すべき方向性についても意見交換が行われ、和やかなうちに懇談を終えました。

本年も職能団体として将来を見据えた議論を進めてまいります。皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

INFORMATION

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ（手続きについて→各種様式→その他）よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

Asia Forum 2024 開催される

本年度は、日本放射線技術学会と合同で第1回日本放射線医療技術学術大会が沖縄県の沖縄コンベンションセンターで、2024年10月31日（木）から11月3日（日・祝）までの会期で開催されました。その学術大会に合わせて、日本診療放射線技師会の国際関連事業として、11月1日（金）午後1時30分より那覇商工会議所においてAsia Forum 2024を開催しました。Asia Forumは、2017年に函館で行われた第33回日本診療放射線技師学術大会から約7年ぶりの開催となりました。今大会は台風の影響により、マレーシアのMSR会長 Sawal Marsalt氏、台湾のTAMRT会長 Chun Yuan Tu氏がキャンセルとなってしまいましたが、シンガポール・香港・韓国・インドネシア・タイ王国・ベトナム・台湾の7カ国10人の各国役員に、自国における診療放射線技師の免許制度や教育システムについて講演していただきました。その中から、いくつか気になった内容を紹介します。

シンガポールでは、診療放射線技師 約2,400人，放射線治療技師 約230人が在籍し、診療放射線技師のうち22%は外国籍の方でした。日本では、日本国の国家試験に合格しなければならないため海外の方が働いているイメージはなく、とても印象的でした。韓国では、診療放射線技師 約55,000人，アイソトープを扱うにはさらに追加で資格を取得する必要があるようでした。また臨床経験5年を経過すると高度実践放射線技師という資格が受験可能となるようでした。日本

とは違い、技師免許のグレードがあることが印象的でした。香港では、香港の大学だけではなく、オーストラリア・カナダ・スイス・イギリスの学士号（BSc（Hons））以上であれば診療放射線技師として登録することが可能であるようでした。日本はまだ日本の大学のみであるためとても印象的でした。

毎年、学術大会では国際関連事業としてインターナショナルセッションを開催しています。これは全てを英語で行うセッションです。今大会ではAsia Forumを開催しましたが、アジアの同じ診療放射線技師の情報が共有でき、とても有意義でした。次年度も海外から参加される方々が訪れると思いますので、ぜひ、多くのJART会員の皆さまにご参加いただけたら幸いです。国際委員会のメンバーと一緒に国際交流をしませんか？

第59回大韓民国放射線士協会学術大会（KRTA）開催される

上田会長によるあいさつ

2024年11月16日（土）にソウルのThe-K Hotelで開催されたThe 59th Annual Meeting of Korea Radiological Technologists Association（第59回大韓民国放射線士協会学術大会）に、上田会長、江藤副会長、児玉副会長の3人を含めて日本人10人が参加しました。今回の学術大会にはアジア地域を中心に6カ国、約60人の外国人を含めて約1,300人が学術大会に参加しました。午前9時から11時までインターナショナルセッションが開催され、韓国・台湾・マカオ・タイ・日本から15演題の発表がありました。インターナショナルセッション終了後、オープニングセレモニーが開催され、上田会長があいさつを行いました。オープニングセレモニー終了後はランチョンセミナー、韓国語による一般演題、ポスター発表、KMIIAA-JSMIM韓日共同セッションなどが行われ、午後6時にはクロージングセレモニー

が行われ、優秀発表賞の表彰などが行われました。

次回は第60回の記念大会となり、2025年11月8日（土）にソウルのCOEXで開催される予定です。また第32回東アジア学術交流大会（EACRT）との併催となります。多くの日本の診療放射線技師の参加を期待しております。

各国の役員による記念撮影

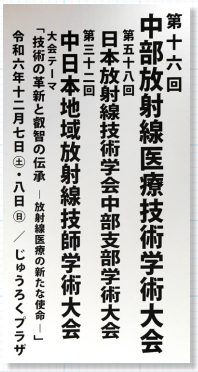
第16回中部放射線医療技術学術大会（CCRT2024）開催報告（ハイブリッド開催）

第32回中日本地域放射線技師学術大会
第58回日本放射線技術学会中部支部学術大会

公益社団法人岐阜県診療放射線技師会
会長　加藤 秀記

開会式

2024年12月7日（土）・8日（日）の2日間、岐阜市のじゅうろくプラザにおいて第16回中部放射線医療技術学術大会を開催しました。またオンデマンド配信は12月13日（金）から26日（木）まで行いました。本大会には一般演題156題が登録され、現地参加者735人、オンデマンド参加者119人、合計854人の多くの方々にご参加いただきました。



立て看板

実行委員の皆さま

中部放射線医療技術学術大会は、中部7県に所在する日本診療放射線技術学会中部支部と中日本地域診療放射線技師会が共催し、地域医療における放射線技術学の研究と発展を目指して連携を深める場として開催されています。

本大会のテーマは「技術の革新と叡智の伝承 ―放射線医療の新たな使命―」とし、新しい技術の探究と既存の叡智とを融合させ、放射線医療の使命を果たしていくことを目指しました。

特別講演では、岐阜大学大学院医学系研究科放射線医学分野教授の松尾政之先生をお招きし、放射線診療の変遷や研究の重要性についてご講演いただきました。この講演は、若手技師をはじめ多くの参加者にとって大変刺激的な内容となりました。

特別講演

またJART/JSRT合同企画「未来のプロフェッショナル発掘企画」では、日本放射線技術学会 石田隆行代表理事と日本診療放射線技師会 江藤芳浩副会長をお迎えし、現場経験や研究事例の共有を通じて学生や若手技師のモチベーション向上を図る内容が展開されました。

さらにタスク・シフト/シェアをテーマにしたシンポジウム、社会貢献をテーマとしたパネルディスカッション、AI技術に関する教育セミナーなど、多彩な企画が行われ、156題の一般演題とも相まって、非常に充実した学術大会となりました。

2日目には一般公開講座が開催され、小中高生を対象に、3Dワークステーション、超音波診断装置、サーベイメーターの操作を体験していただくプログラムを実施しました。保護者を含む100人が参加し、診療放射線技師の仕事をより身近に感じていただける貴重な機会となりました。

最後に、本大会の開催に際し、前年開催地である福井県の皆さまからのノウハウの伝授や、実行委員会の尽力、関係者の皆さまからのご支援に深く感謝申し上げます。今後も放射線医療の発展に寄与する学術大会を目指し、さらなる研鑽（けんさん）を続けてまいります。

第19回九州放射線医療技術学術大会 in宮崎 開催報告

第70回九州放射線技師学術大会
第73回日本放射線技術学会九州支部学術大会

第19回九州放射線医療技術学術大会　実行委員長
一般社団法人宮崎県放射線技師会　会長　蕪　俊二

本大会のテーマは「放射線技術学の調和と進歩」として、2024年12月21日（土）・22日（日）の2日間にわたり、宮崎市のシーガイアコンベンションセンターで開催しました。

大会プログラムは、特別講演、教育講演2題、シンポジウム、ランチョンセミナー3題、実行委員企画による教育講演2題、ライブセミナー2題を企画しました。

特別講演では、「地域とともに、そして、チャレンジを忘れないワインづくり」と題して、株式会社都農ワイン 代表取締役の赤尾誠二先生によるご講演を頂きました。ワインづくりという業種の違いはあっても、「技術」に対する知識と実践において診療放射線技師にも共通する面が多々あり、非常に有意義なお話でありました。

教育講演1では、研究倫理をテーマとして、JSRT、JARTそれぞれの立場でご講演いただきました。

教育講演2では、「医療AIの現状と研究の技法」と題して、宮崎大学工学部の内山良一教授にご講演いただきました。大会のメインでもあるシンポジウムでは「救急医療における放射線技術学」というテーマで「初療における放射線技術学」「循環器救急領域における放射線技術学」「脳神経救急領域における放射線技術学」「消化器救急領域における放射線技術学」と題して、4人のシンポジストにご発表いただきました。通常とは異なる救急医療における診療放射線技師の技術、また役割が非常に重要であると再認識させられました。

九州放射線医療技術学術大会は、毎年、秋季に開催しておりましたが、同時期のさまざまなイベント開催によって、年末の慌ただしい時期での開催となりました。一般研究発表105題、参加者数600余人、情報交換会160余人と多くの会員・学生にご参加いただき、盛会に終えることができました。

上田会長、児玉副会長をはじめ、ご協力いただきました全ての方々に、心から感謝申し上げます。

レントゲン週間 イベント開催される

11月2日～8日は レントゲン週間

本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

NAGASAKI

第30回おおむら健康・福祉まつり

- **日　　時**：2024年10月20日（日）
- **開催場所**：シーハットおおむら
- **参 加 者**：運営150人、会員6人（長崎医療センター：宮嵜義章、石田秀樹、秋山亜樹、木場亮、村岡芽依、市立大村市民病院：兒玉朱理）、一般3,300人

このまつりは、高齢者や子ども、障害のある人など地域で暮らす多くの市民が触れ合い、交流を深め、健康と福祉を共に考えることを目的としたイベントです（主催：おおむら健康・福祉まつり実行委員会　事務局：大村市国保けんこう課）。

長崎県診療放射線技師会のブースでは「骨密度を測ってみよう！」と題して、超音波骨密度測定装置を用いて踵骨で骨密度を測り、測定値の説明を行いました。体験者は、自身の骨について現状を把握できる良い機会とあり、開催時から列を作って並んでいました。最終的に152人の方の測定と説明を行いました。配布資料もあり、診療放射線技師のブースには187人の方に来ていただき、お話しすることができました。長崎県診療放射線技師会として、地域の皆さまと交流を持ち、健康について一緒に考えることができて、充実した時間を過ごすことができました。

また他のブースにおいても、血管年齢測定、認知機能検査の体験コーナー、お口健康グッズのプレゼント、バザー、スポーツ、餅まき、クイズラリーと盛りだくさんの内容で開催されており、とても楽しく過ごすことができました。皆さまもぜひ、次回開催時には足を運んでみてください。最後に、日本診療放射線技師会よりレントゲン週間として補助していただき、心より感謝申し上げます。

（長崎県診療放射線技師会（大村地区理事）
長崎医療センター　宮嵜 義章）

SHIZUOKA

メディメッセージ2024 in 静岡

- **日　　時**：2024年10月26日（土）・27日（日）
- **開催場所**：ツインメッセ静岡
- **参 加 者**：運営：協和医科器械株式会社、会員20人、一般5,500人

・CT検査について（ワークステーションを利用した説明）／診療放射線技師のお仕事について／放射線被ばくについて／MRI検査について（模擬検査機器で音を体験してみよう）／X線画像について（ビューワーを利用した説明）／マンモグラフィーについて（専用ビューワーを使用した説明）／防護エプロンでコスプレ撮影／ポータブル装置を用いた撮影模擬体験

診療放射線技師を目指しているという中学生・高校生が5人ほど声を掛けてきてくれて、とても嬉しく感じました。　（静岡県放射線技師会　会長　髙橋 真）

KYOTO

2024年 府民交流フェスタ

■ **日　　時**：2024年11月3日（日・祝）
午前10時から午後4時まで
■ **開催場所**：京都府立植物園
■ **参 加 者**：運営100人、会員6人、一般12,000人

今年も私たちは団体PRブースの一つとして参加しました。イベントは屋外で行われるため、前日までの雨が心配されていましたが、当日は晴天に恵まれ地面も乾いており、良い天候の中でイベントを迎えることができました。

本会が用意したイベントは、「放射線なんでも相談コーナー」「シルエットクイズコーナー」「パネル展示」「骨密度測定（超音波式）」の4つです。これらを通じて診療放射線技師の活動をアピールすることができました。

放射線のブースはパフォーマンス広場に配置され、次のような参加者数となりました：「放射線なんでも相談コーナー」には4人、「シルエットクイズコーナー」には親子27組と10人、「骨密度測定」には97人と多くの方々が訪れました。クイズコーナーでは子供たちの楽しそうな笑顔が見られ、癒やされる場面もありました。また未来を担う子供たちに診療放射線技師という職種をアピールできたことは大変有意義でした。

骨密度測定では最大30分待ちになるほど大盛況で、うれしい悲鳴となりましたが、測定を楽しみに待たれている顔を見ていると頑張ることができました。

図1、**図2**に骨密度測定に訪れた人数のデータ（年代別／男女別）を示します。

クイズや骨密度測定を受けていただいた方々には、クリアファイルとボールペンを配布し、レントゲン週間のことを多くの方にお知らせすることができました。

今回も子供から高齢者まで幅広い年齢層の参加者があり、特に若い世代に訴え掛けることができたため、有意義な時間を過ごすことができました。

府民交流フェスタへの参加は毎年抽選で決まるため、継続的に啓発活動を行えるかどうかは不確かですが、これからも努力して続けていきたいと考えています。

最後に、このイベントに協力していただいたスタッフや会員の皆さまに心から感謝申し上げます。

（京都府診療放射線技師会　広報渉外理事　三浦 健一）

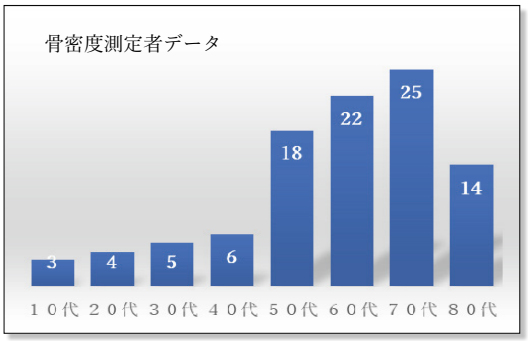


図1

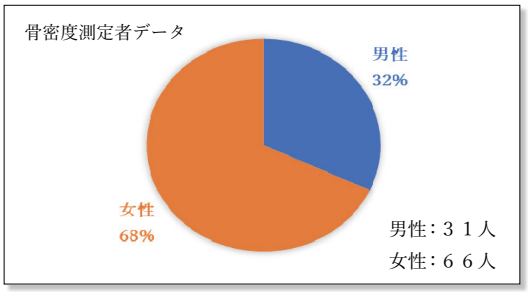


図2

SHIMANE

2024年レントゲン週間・ピンクリボンフェスタ あなたのための医療放射線展

■日　　時：2024年11月9日（土）・10日（日）
午前10時から午後4時まで（両日とも）
■開催場所：出雲健康公園出雲ドーム
■参 加 者：運営14人、会員39人

多くの技師会会員にボランティアとして参加いただき、県民の皆さまに診療放射線技師について紹介できました。

また乳がん検診など、がん検診の重要性をお伝えでき、乳房触診ファントムを用いて自己触診の方法について説明できました。

・骨密度測定：644人
・乳がん検診相談・自己触診指導：218人
・職業紹介：3人
・職業体験：延べ692人

（島根県診療放射線技師会　三澤 秀武）

●会場風景

●乳がん触診モデルによる触診体験・マンモグラフィー検診の相談

●骨密度測定体験

●職業体験（マンモビューワー・超音波検査体験・3Dワークステーション体験）

●職業案内・放射線検査についてのパネル展示

INFORMATION

第3回 第41回日本診療放射線技師学術大会

福井への道 Go To FUKUI

牧野 良孝
（公益社団法人福井県診療放射線技師会 副会長）

福井北部の紹介

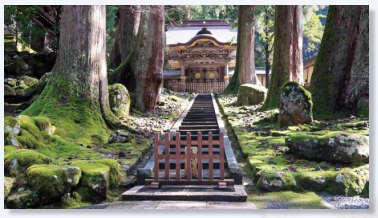
福井への道、第３回は福井県の北部にある坂井市・福井市エリアについてご紹介します。

まずは「**東尋坊（とうじんぼう）**」。福井県北部の海岸線に約1kmにわたって連なる巨大な柱状節理（ちゅうじょうせつり）。これだけ大規模な柱状節理は世界的にも珍しく、「**柱状節理世界三大絶勝**」の一つに数えられ、国の天然記念物と名勝にも指定されています。福井県屈指の観光スポットであり、犯人が崖っぷちで追いつめられる撮影地としても有名な東尋坊。美しい日本海と迫力満点の断崖絶壁に魅了され、高所恐怖症の人は腰が立たなくなるかも。

東尋坊

▶アクセスは福井駅→→えちぜん鉄道三国芦原線（約50分）→→えちぜん鉄道三国駅→→京福バス（約10分）→→「東尋坊」バス停で下車、徒歩約5分。

続いては曹洞宗の大本山として知られる「**永平寺（えいへいじ）**」。770年以上の歴史が生み出す圧倒的な荘厳さの中で、**雲水（うんすい）**と呼ばれる修行僧たちが修行に励む様子を垣間見られる福井県が誇る名刹（めいさつ）です。拝観は年中無休で、事前予約をすれば**朝課（ちょうか）**と呼ばれる早朝のお勤めにも参加することもできるようです。早朝の張り詰めた空気の中、境内に響き渡る読経の声。何十人もの雲水が一心にお唱えするさまは迫力満点だそうです。



永平寺

▶アクセスは福井駅から便利な直行バスが毎日運行しています（永平寺門前まで約30分）。

続いては福井市の南東約10km、一乗谷にある「**一乗谷（いちじょうだに）朝倉氏遺跡**」。戦国時代に朝倉氏五代が103年間にわたって越前の国を支配した城下町跡。武家屋敷・寺院・町屋・職人屋敷や道路に至るまで町並みがほぼ完全な姿で発掘され、遺跡は国の特別史跡・特別名勝、出土品は重要文化財に指定されています。

一乗谷朝倉氏遺跡

▶アクセスは「福井駅東口」から一乗谷朝倉氏遺跡と大本山永平寺を巡るツアーバス〈はぴバス〉が運行中です。先ほど紹介した「永平寺」とセットで観光できます。

続いては「**丸岡城**」。現存する天守閣では最も古く、北陸地方で唯一の現存天守です。戦国時代の天正４年（1576）に柴田勝家の甥、勝豊によって築かれました。天守（国指定重要文化財）の外観は二層、内部は三階の独立式望楼型天守です。石垣は“**野づら積み**”という古い方式で、隙間が多く粗雑な印象ながら排水が良く、大雨に崩れる心配がないといわれています。また春には**日本さくら名所100選**にも認定された約400本のソメイヨシノが、「**霞ヶ城**」の別名にふさわしく古城に美しさを添えます。

丸岡城

▶アクセスはJR福井駅から京福バス（丸岡城行きで約50分）で丸岡城停留所下車すぐ、またはJR芦原温泉駅から京福バス永平寺行きで約20分。

最後に、福井はマイカー普及率が高く、どの観光地に行くにも公共交通機関が発達しておりません。今日の労働力不足でバスの運行本数も激減しました。そのため時間帯によってはレンタカーやタクシー利用もお勧め致します。

第41回 日本診療放射線技師学術大会

The 41st Japan Conference of Radiological Technologists

放射線技術のイノベーション

～期待される診療放射線技師の役割に応えよう～

2025.
9/12（金）▸14（日）

会場　福井駅前
AOSSA、ハピリン他

［現地＋オンデマンド配信］

https://www.kwcs.jp/jcrt41/

会長　上田 克彦（公益社団法人 日本診療放射線技師会　会長）

大会長　村中 良之（公益社団法人 福井県診療放射線技師会　会長）

主催：公益社団法人　日本診療放射線技師会
共催：公益社団法人　福井県診療放射線技師会
後援：厚生労働省（予定）、公益社団法人 日本放射線技術学会、福井県、福井市

大会事務局　公益社団法人福井県診療放射線技師会
〒910-0851　福井県福井市米松1丁目16-31　NTビル2階
E-mail：41jcrt@gmail.com

パワーハラスメントを自分ごととして捉えてみる

シリーズ・連載 series serialization　五感 —— five senses

改正労働施策総合推進法、いわゆる「パワハラ防止法」が2019（令和元）年6月に公布され、2020（令和2）年6月より大企業で施行、中小企業においても2022（令和4）年4月より施行されました。職場におけるハラスメント防止対策が強化されたことを受け、皆さんもハラスメント研修を受講していると思います。

厚生労働省によると「身体的な攻撃」「精神的な攻撃」「人間関係からの切り離し」「過大な要求」「過小な要求」「個の侵害」の6項目の代表的な言動に対し、パワハラに該当すると考えられる例と該当しないと考えられる例とが挙げられています。

ハラスメントトラブルが年々急速に増加している中、「ハラスメントと感じる人」と「ハラスメントを起こす人」が増えています。すなわち、誰もが意図せず加害者にもなり、被害者にもなり得るといえます。

そこでハラスメント度チェックをご紹介します。①部下から意見されるとイライラする ②自分のミスを部下に謝ることはない ③自分はどちらかというと短気で怒りっぽい性格だと思う ④何かあるとすぐ感情的に叱る ⑤厳しくしないと人は育たないと思う ⑥部下の中に気に入らない人がいる ⑦仕事ができない部下に仕事を与えないのは仕方がないと思う ⑧目標達成のためには就業間際に残業を頼むことをいとわない ⑨自分は部下に気を使わせていると思う ⑩部下のプライベートを把握するのも上司の仕事の一つだと思う——○の数が0～3個であればハラスメント度は青信号（職場では自分の感情と上手に付き合っているといえます）、4～7個であれば黄信号（時々，自分の感情をコントロールしづらい時があるようです）、8～10個であれば赤信号（自分自身がハラスメントを起こさないよう、またハラスメントで訴えられないよう、感情のコントロールを学びましょう）といえます。

皆さん、いかがでしたでしょうか？　まずはさまざまなハラスメントを人ごとではなく、自分ごととして考えてみる、そして心理的安全性の高い職場を目指していきましょう。

（文責：木暮 陽介）

INFORMATION

2月・3月の講習会などスケジュールのご案内

■ **放射線取扱主任者定期講習**　：東　京　2025年2月21日（金）

■ **告示研修（実技研修）／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース（会場型）**：
本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

【e-ラーニング（ストリーミング方式）】

■ **放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会（オンライン）**	2025年2月1日（土）正午まで申し込み受け付け ※2025年2月5日（水）午前0時から3月5日（水）午後11時59分まで開催（予定）。 ※確認試験もオンラインで実施致します。 ※JARTISからの申し込みではございませんので、ご注意ください。
■ **告示研修（基礎研修）**	2026年3月31日（火）午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
■ **人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー**	2027年3月31日（水）午後11時59分まで申し込み受け付け ※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。

■ **オンラインセミナー（在宅）**：本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム（JARTIS）をご参照ください。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務所案内　執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。